

2026年度 大野中央病院における看護師負担軽減及び処遇改善に対する体制

適切な人員配置による業務軽減

一般急性期病棟夜勤帯 その他部署繁忙時間帯には手厚い看護配置を実施

- 外来・手術室・透析室→早番・遅番など 患者数に応じて配置
- 必要度データに見合った人員配置
- 非常勤職員の採用による繁忙時間帯の業務整理
- 夜勤帯の看護師の増員(患者数に応じた遅番配置)
- 育児 介護などに合わせた時差出勤導入

〔看護補助者の活用〕

日中・夜間業務の軽減とタスクシェアリング

- 看護補助者の教育強化
- 業務マニュアル見直し→尿量チェックと尿破棄など 業務移行
- 夜間時間を含む早番・遅番複数配置(食事介助などの充実をはかる)／部署内資材の在庫管理と発注
- 病棟においてのベッドメイキング・検査への案内や搬送／手術室への搬送
- 外来診療に関わる、診察の準備・介助・書類の準備や整備／診療材料の補充・整備

多職種との連携

〔薬剤部との連携〕

病棟における服薬指導・注射定期処方患者個人別セットの実施をする

- 病棟担当薬剤師配置 (注射薬・内服薬 当日分を含む全て管理)
- 薬剤管理指導など実施／病棟内配置薬 定数管理

〔臨床工学技士との連携〕

医療機器の管理を行う臨床工学技士がついて連携を図る

- 病棟業務については看護師と連携して実施／病棟・外来・手術室などにおける医療機器全般の管理・メンテナンスを実施

〔病棟クラークとの連携〕

- 空床報告作成(日・祭日は除く)／面会や入院患者家族への対応(感染対策を含)
- 予約入院の準備・検体ラベル準備と作成や入院患者の迎え入れ／患者搬送やナースコール対応／データ整理

〔患者支援室と入院退院支援部門との連携〕

- 施設からの緊急入院調整／レスパイト入院時の入院案内の実施／家族を含めて退院後の生活サポート・相談・施設紹介

〔リハビリスタッフとの連携〕

リハビリ介入により患者の情報共有でき連携を図る

- ADLアップのためのトランスファー指導と相談／リハビリ室への送迎や食堂への搬送／車いすの清掃・点検の実施
- OT/PTによる食事時のみまもり また OTによる入浴介助サポートや ST介入による嚥下訓練と食事介助

〔栄養士との連携〕

- 栄養管理において、低栄養状態の患者を早期に抽出し栄養計画書を一週間内に作成し対応策を提案。
- 食事形態の変更や相談

その他

妊娠・子育て中の職員に対する配慮

- 院内保育所の設置
- 妊娠中や子育て中の夜間勤務免除
- 育児短時間労働・看護休暇の導入や男性職員の育児休暇導入
- 身体の負担が少ない業務内容への変更／他部署などへの配置転換

家族の介護を要する職員に対する配慮

- 介護休業・休暇導入・看護休暇の導入

夜勤における負担軽減

- 夜勤2交代による生活リズムの安定 また 11時間以上の勤務間隔の確保
- 夜勤連続回数2回まで その後休み2連休確保や上限設定は月8回まで／夜勤専従の確保
- 連続勤務5日以内
- 勤務希望に配慮した勤務表作成
- 看護補助者の夜間配置
- みなし看護補助者を除いた看護補助者比率5割以上
- 仮眠2時間を含む休憩時間の確保